



“いいまち”つくる井町です!!

岡崎市議会議員

井町よしたかの

“いいまち”ニュース

(市政レポート)

子供からお年寄りまで幸せを感じられる岡崎市を目指します!

発行：岡崎市矢作町字出口1番地 井町圭孝連絡事務所(東レ労組内) TEL:34-2514

厳しい状況が見込まれるものの一般会計は1,279億円、前年度対比+4.7%

	令和4年度当初予算額	令和3年度当初予算額	前年対比
一般会計	1,278億8,000万円	1,221億円	4.7%増
特別会計	686億9,452万円	649億9,367万円	5.7%増
企業会計	568億693万円	570億9,676万円	0.5%減
総額	2,533億8,145万円	2,441億9,043万円	3.8%増

令和4年度の一般会計予算規模は1,279億円で前年度対比4.7%増となるも市税収入を見るとコロナ禍前の規模までは回復していない。コロナ対策費は令和4年度当初予算及び令和3年度の繰り越し分をあわせると60億円を超える規模となっている。

岡崎市議会は、3月定例議会を23日間開会し、令和4年度当初予算など全議案可決されました。今年度の予算は「コロナ禍を乗り越え一歩先の暮らしを見据えた魅力あるまちづくりを進める予算」と銘打ち、ミズコロナ、サザンコロナを見据え、コロナ禍を戦い抜き、市民生活を守るための予算が編成されました。確実かつ無駄のない予算執行がされるようしっかりとチェックしていきます。

令和4年度当初予算における事業の一部をご紹介します

新

パートナーシップ制度導入

性的指向、性自認及び性別表現を尊重し、誰一人取り残さない多様な主体が協働・活躍できるまちづくりを推進するため、パートナーシップ・ファミリーシップ制度を導入

新

結婚新生活支援

(条件を満足した)若い新婚世帯に対して「住居費」等について経済的支援を行う
対象経費：住宅取得費、引越し費用等 (上限30万円)

新

位置情報検索サービス導入費補助

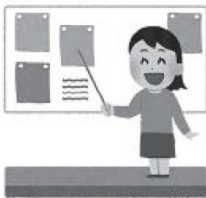
認知症及び障がい児・者の見守り支援として、位置情報検索サービスの導入初期費用を補助(上限1万円)



新

電子黒板の整備

岡崎市立全中学校の普通教室に電子黒板を整備(R5年1月)



新

インフルエンザ予防接種補助

中学校3年生、高校3年生に相当する年齢の者に対してワクチン接種の補助を実施
補助額：2,000円
後精算



新

若者のためのまちづくり

高校生・大学生等と協働して、社会や地域の課題を解決する提案とその実証実験を行い、市民のサービス向上を目指す



拡充

屈折検査機器の導入

3歳児健康診査に弱視の危険因子となる斜視および屈折異常(近視、遠視、乱視、不同視)を僅か数秒でスクリーニングできる屈折検査機器を導入

拡充

校内フリースクール拡充

市内8校の中学校に設置していた校内フリースクールを14校に拡充。長期欠席の未然防止や社会的な自立を目指した支援の充実、個の学習状況に応じた指導などを充実

拡充

街頭防犯カメラ設置

令和4年度にも市内に250台を設置する。(3年間で合計1,050台)令和4年度の主な設置場所は子どもへの声掛けや女性被害、侵入盗被害場所周辺等



子ども・若者総合相談センター（10月開設）

令和3年度に、不登校やひきこもり等の社会生活を営む上での困難を抱えた若者（概ね15～39歳）の相談窓口として開設した若者相談窓口（若者サポートセンター）。令和4年10月からは、子ども世代（15歳未満）も対象に加えた上で、相談体制を充実させ、社会生活を営む上での困難を抱えた子ども・若者の総合的な相談窓口である『子ども・若者総合相談センター』として開設するため、従来の相談体制との主な変更点について紹介します。

子ども・若者総合相談センター設置



若者相談窓口の2拠点と少年愛護センターの機能を集約し、市役所本庁舎内に子ども・若者相談のための拠点として専用ブースを設置

対象年齢の拡大

子ども・若者育成支援推進法の趣旨に合わせ、相談対象に子ども世代（15歳未満）も加え、幅広い世代の一元的な相談窓口とする

相談対象の拡大

社会生活を営む上で困難を抱えた子ども・若者の総合的な相談窓口として、従来、主な対象としていた不登校やひきこもりに加え、社会問題となっているヤングケアラーなどにも対応

相談体制の強化と再編

相談員を増員し、予約制の専門相談の実施日を週1日から開所日全日に拡大。また、少年相談を担う少年愛護センターの相談指導員も常勤し、2つの相談窓口機能を再編する

相談メニューの充実

様々な困難を抱えた若者に個別の事情に合わせた対応を行うため、メールやLINEを活用した相談受付や必要に応じて訪問相談や関係機関へ同行するアウトリーチを行う

初期支援の実施

長期間のひきこもりや不登校などにより、すぐに社会へ出ることを困難と感じている若者への初期支援として、生活習慣や社会生活を身につけるためのセミナーやパソコン教室を行う

井町の部屋

井町の意見！

● 新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、経済面では持ち直しの動きに弱さが見られる。令和4年度も新型コロナウイルスに関する予算が約60億円計上され、さらに補正予算も組み込まれることが予想されるが、必要などころに必要な支援が届くよう引き続き目を光らせて活動する。

● パートナーシップ・ファミリーシップ制度が導入された。性的少数者は1割近く存在していると言われており、性の多様性を尊重し、性的指向、性自認及び性別表現に起因する人権侵害をなくし、多様な主体が協働・活躍できるまちづくりを推進するために必要な制度であると考え。制度導入をきっかけに性の多様性に対する市民の理解が進むことを期待している。

● 愛知県警察に組織犯罪特別捜査課が新設され、一七セ電話詐欺対策に力を入れていくことが窺えるが、岡崎市も1月に『子ども・女性・高齢者を犯罪から守るまち岡崎』を宣言し、防犯対策に力を入れることを市民に約束した。年々犯罪件数は減少しているものの詐欺被害など増加している犯罪もある。より安全・安心な岡崎市になるよう防犯活動の輪を広げる活動にも力を入れていきたい。

井町よしたか 連絡先



友たち追加

事務所 〒444-8522 岡崎市矢作町字出口1番地 東レ労組内
TEL：34-2514 FAX：34-2517
自宅 TEL：070-5253-4192 FAX：32-4192
E-mail： yimacchi@m5.catvmics.ne.jp
ブログ： <http://ameblo.jp/iimachi-imachi/>



政治に参加しよう！

地域の困りごとや、市政に対する意見・ご要望など気軽にご連絡下さい。